

学習内容報告書 フォーマット

学校名	赤穂市立御崎小学校
授業者	田中 亮介 野近栄美理

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

発見！海のとからもの

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習

1-4. 単元の概要

年間を通して校区内の大塚海岸を活動の中心場所として、NPO法人「赤穂海っ子倶楽部」の方や須磨水族館の方を講師に赤穂の海に関する活動を行った。一学期は、磯観察やスノーケリング体験を通して、御崎の海に親しみや興味を持たせた。二学期は、貝殻標本づくりや海における命のピラミッドの話を通して、アマモの役割やその大切さを知り、種を蒔き、育成することで環境を守るために自分たちが出来ることに気づかせるようにした。三学期には、これまで学習をして学んだことや感じたこと、考えたことなどをグループ毎にまとめ、2年生に発表することでこの活動をつなげる予定だった。しかし、コロナウィルス感染症の拡大防止のため3月4日より、臨時休業になったため発表会は行えなかった。「赤穂海っ子倶楽部」の方には、一年間いろいろとお世話になったお礼と育てたアマモの苗を登校日に渡すことができた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

地理的な特色を生かし、校区内の海岸で、年間を通してアマモの種まき・育成、磯観察、スノーケリング体験、貝拾いや標本作り、ダイバーによるアマモ移植等を体験したりして、御崎の海の自然に親しみ、自分たちが住んでいる地域の海を見つめ直し、身近な環境問題に目を向け課題を見つけ、環境を守るために自分たちができることを考え、生活に生かす力を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・積極的に海の生き物を探そうとしたり継続してアマモの世話をしたりすることができる。
- ・体験や提示資料に基づき、課題を設定し、問題解決に向けて適切な情報を選択・判断することができる。
- ・学習を通して得たことや身に付けたことを他者に分かりやすく表現することができる。また、生き物の生態や身近な環境問題についてグループで分かりやすくまとめることができる。
- ・自分たちの活動を振り返り、自分の住む町の海を自分の力で守っていこうとすることができる。

1-7. 単元の展開（全68時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
22	<p>(1) 海について知っていることを出し合う。</p> <p>(2) 大塚海岸の磯に生息する生き物について学習する。</p> <p>(3) 大塚海岸で磯に生息する生き物を探し、観察する。班ごとにオリジナル水族館を作る。</p> <p>(4) 御崎の海の中に生息する生き物について学習する。</p> <p>(5) 学校のプールでスノーケリングの道具の使い方や泳ぎ方を知る。</p> <p>(6) 御崎の海でスノーケリングを行い、水中の生き物を探し、観察する。</p> <p>(7) 光るクラゲを鑑賞する。</p>	<p>事前学習会では、海っ子倶楽部の方が作って下さったパワーポイントで写真を見たり、クイズに答えたりしながら、海の生き物の名前や特徴を学習する。教師は事前学習会や体験活動の前後に補充学習や調べ活動を行い、学習が深まるように指導した。</p> <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物にふれ、親しみ、命や自然の偉大さに気付くことができる。 ・海の生き物の多様性や生態系についての理解を深めることができる。 ・積極的に海の生き物を探そうとしたり、生き物の生態を知ろうとしたりしている。 <p>【外部連携】 NPO 法人 赤穂海っ子倶楽部</p> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント・ワークシート ・インターネット・図鑑
26	<p>(1) 大塚海岸に生息する貝について学習する。</p> <p>(2) 大塚海岸で貝を探し、収集する。</p> <p>(3) 見つけた貝の種類や名前を調べ、色紙に貼り、標本を作製する。</p> <p>(4) 須磨水族園や海っ子倶楽部の方の話聞き、命のピラミッドや海の命の関係性、環境の悪化による命のバランスの崩れについて学習する。</p> <p>(5) アマモの役割について</p>	<p>事前学習会では、海っ子倶楽部の方や須磨水族園の方が作って下さったパワーポイントで写真を見たり、クイズに答えたりしながら、貝の名前や特徴、命の関係性や海の環境問題について学習した。教師は事前学習会や体験活動の前後に補充学習や調べ活動を行い、学習が深まるように指導した。アマモの植え付け後は、成長の様子を観察したり、海水を足したり空気を抜いたりした。</p>



磯観察をする児童の様子



水クラゲを触れ合う様子



スノーケリングの様子



大塚海岸で貝を拾う様子



貝の特徴から

貝の名前を調べる様子

	<p>知る。</p> <p>(6) 御崎の海にアマモを増やすために、アマモの植ええを行う</p> <p>(7) 世話をする。</p>	 <p>自分だけの標本を作る様子</p>  <p>スナメリについて学習する様子</p>  <p>アマモの植え付けの様子</p>	<p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に貝を探したり、生き物の生態を知ったりして、海の生き物の多様性や生態系についての理解を深める。 ・提示資料を見て、貝の特徴から貝の名前を調べることができる。 ・海の命の繋がりや環境問題について知り、海の命を守るために自分にできることを考えることができる。 ・アマモの成長の様子を継続して観察し、アマモの世話をしようとしている。 <p>【外部連携】 NPO 法人 赤穂海っ子倶楽部 須磨水族園の方</p> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント・ワークシート ・インターネット・図鑑
20	<p>(1) これまでの海の学習を振り返る。</p> <p>(2) 特に心に残った活動について体験したことや分かったことをグループごとにまとめ、発表する。(調べ学習・小道具&原稿作り)</p> <p>(3) 発表の練習を行う。</p> <p>(4) 2年生と海っ子倶楽部の方に向けて発表会を行う。</p> <p>(5) 世界の海について話を聞く。</p> <p>※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発表会に向けた取り組みは行なったが発表会は急遽中止となった。</p>	 <p>グループ発表の様子 (昨年度)</p>  <p>日本・世界の海の学習 (昨年度)</p>	<p>インターネットや本を使って調べ学習をしたり、クイズや新聞、劇など発表方法を工夫したりできるようにした。原稿を作ったり、時間配分や声の大きさを考えたりして発表の練習を行うよう指導した。</p> <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して知ったことや身に付けたことをグループで協力して、分かりやすく表現することができる。 ・活動を振り返り、御崎の海の環境を自分たちの力で守っていこうとしている。 <p>【外部連携】 NPO 法人 赤穂海っ子倶楽部</p> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント・ワークシート

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 68 時間中の 15～19 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

2-2. 本時の目標

御崎の海でのスノーケリング体験を通して、積極的に海の生き物を探そうとしたり、生き物の生態を知ろうとしたりする中で、海の生き物の多様性や生態系についての理解を深め、命や自然の偉大さに気付くことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>(1) 本時の学習活動や流れを知る。</p> <p>(2) スノーケリングの準備を行う。</p> <p>(3) グループごとにスノーケリングを行う。</p>  <p>(4) 待っている間に水中で見た物や海岸の生き物について絵や特徴をワークシートにまとめる。</p> <p>(5) 道具の片付けを行う。</p> <p>(6) 海っ子倶楽部の方の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもたせる。 ・事前学習会でスノーケリングの道具の使い方や泳ぎ方を練習しておくことで、スムーズに学習に臨めるようにする。 ・海っ子倶楽部の方が1対1で児童につけるようにすることで安全に活動が行えるようにする。 ☆安全にスノーケリングを行い、積極的に海の生き物を探そうとしたり、生き物の生態を知ろうとしたりしている。（発言） ☆海の生き物にふれ、親しみ、命や自然の偉大さに気付くことができる。（発言） ・海の中で見た生き物や海の中の様子について振り返らせることで、生態系についての理解を深めさせる。 ☆観察したことや気付いたことをまとめ、海の生き物の多様性や生態系についての理解を深める。（ワークシート）

3. 今回の活動の自己評価

初めてスノーケリング体験をする児童が多かったが、事前に学校のプールでスノーケリング道具を身に付けて泳ぐ練習をしておくことで、泳ぐことが苦手な児童も海で泳ぐことへの恐怖心がなくなり、安全に楽しく学習に参加することができた。また、事前学習会で海の生き物がどのような場所に身を隠しているかを知ったり、赤穂の海に生息する魚の名前や特徴を知ったりすることで、実際の海の中でも多くの生き物を見つけることができた。赤穂の海に多数生息するナベカやキュウセン、クロダイなどの多様な生き物に目を輝かせて学習をする姿が見られ、自分達の住む地域の海に多くの生き物が生息していることに気付くことができた。スノーケリング体験は海の生き物の多様性や生態系についての理解を深めるよい体験となり、子ども達からも「海ってすごい」「こんなにかわいい魚がいるなんて知らなかった」という声が多くあがった。

また、2学期に行う命のピラミッドや環境についての学習の際もスノーケリング体験で海の素晴らしさに直に触れ、海の生き物への理解をもっていたからこそ「海を守りたい。」「海の生き物をもっと増やしたい。」という思いを強くすることができたのだと考える。

4. 今後の課題

- ・発表会の時期（インフルエンザや感染症などの流行）
- ・アマモの発芽率をどのように上げ、その後どう育てていくか
- ・保護者・地域の方に向けた海の学習の啓発

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・年度当初予定をしていたこの学習のまとめである2年生や「赤穂海っこ倶楽部」の方々に向けての発表会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため3月より学校が臨時休業になったため行えなかった。そのため、単元の展開に発表会の様子の写真は、昨年度の発表会のものを使用している。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。